

第3学年4組 算数科学習指導案

1 単元 小数 (本時 11/11)

2 本時の目標

容積の異なる2つのコップを使って、ねらった量の水の計り方を考えることができる。

(思考・判断・表現)

3 展開

段階	学習活動	教師の活動・支援
導入 (10)	<p>1 0.5Lと0.2Lのコップを使って、0.3Lの水の計量方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コップいっぱいに入れると、0.5Lや0.2Lの水がつかれるね。 ・0.5Lの水を0.2Lのコップに移したときは、引き算をして残りの量を求めることができるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計量方法を理解しやすいように、図を使って説明する。 ・これからの活動に生かせるように、整理して掲示する。 a. コップいっぱいに入水を入れる。 b. 別のコップに移して、計算をする。 c. コップの水を捨ててもよい。
課題 (3)	<p>2 本時の学習課題を把握する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大きさのちがう2つのコップを工夫して使い、ねらった量の水をつくろう。</p>	
展開 (26)	<p>3 0.5Lと0.2Lのコップを使って、0.1Lと0.4Lの水の計量方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きいコップに入った0.5Lの水を、小さいコップに移すと、0.5L-0.2Lで0.3L残るね。 ・小さいコップを空にすると、残った0.3Lから、さらに0.2L減らせるね。 ・0.4Lの水は、小さいコップから大きいコップに2回移すとつかれるから、0.2L+0.2Lのたし算だね。 <p>4 0.7Lと0.5Lのコップを使って、計量方法を考える。(0.1L~0.4L, 0.6L)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤をしやすくするために、タブレットを使って考えるようにする。 ・計量を再現できるように、手順を記録するワークシートを配付する。 ・変化したかさの算出方法が分かるように、式を書く欄を設けておく。 ・活動に困っている児童には、参考になる板書や掲示を示すなどの支援をする。 ・疑問を解決したり理解を深めたりするために、グループで話し合う時間をとる。 ・困っている児童は、スクールタクトで模型を動かして考えることを助言する。 ・感想や気付いたことを書くよう伝える。 ・小数の計算を生かすことや、友だちと交流することのよさに気付くことができた児童を指名する。
整理 (6)	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数の計算を使って、ねらった量の水をつくることができました。 ・友だちに聞いたら分かりました。 	

4 評価

2つのコップの水を移し替えることによる量の変動を計算して、ねらった量の水の計り方を考えることができたか。 (活動3, 4の様子とワークシートの記述から)